

登録コード:MH172400 開講年度:2026		授業科目区分	保健師コース 必修
科目名	学校・産業看護論【20M～24M】 School Nursing and Occupational Health Nursing		
担当教員	五十嵐 久人 他 石田 史織・富澤 真澄		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/ 4 年 後期(前半) 火曜・ 5 時限		
単位数、講義室	1 単位	保健学科 1 1 1 講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	非該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	授業の達成目標	
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	学校保健・産業保健分野における保健活動の基礎を理解できる。	
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。	学校・産業の特徴に即した公衆衛生看護活動の展開方法を理解できる。	
	MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	学校保健・産業保健分野の対象者の健康状態や生活背景に応じた適切な保健活動の実践を理解できる。	
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	学校・産業保健活動の実践上の疑問や課題に対して、科学的に考察し、実践の妥当性を検討するとともに、より質の高い保健活動につなげる視点をもって展開する方法を理解できる。	
	多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	地域看護の対象である産業および学校での看護について、既に学習した基礎理論をふまえ、さらに実践の理解を深めることを目的とします。 本授業は4年次前期で学んだ「公衆衛生看護学実習」「統合実習」で学ぶことが出来なかった知識を相補的に学んでいくことになります。 本授業は担当教員の保健師として、および産業・学校分野のゲストスピーカー（産業保健師、企業健康管理部門、養護教諭）の実務経験を活かして講義を行います。 本授業は、これまでに学んだ各領域の授業内容を基礎として、地域での支援方法を検討するものです。		
授業計画	第1回（ 9月29日）学校保健（実際とそれに対応する技術・知識） 第2回（10月 6日）学校保健（養護教諭の活動の実際） 第3回（10月13日）産業保健（現状と課題） 第4回（10月20日）産業保健（職場巡視） 第5回（10月27日）産業保健（職場巡視演習 ） 第6回（11月 6日）産業保健（職場巡視演習 ） 第7回（11月17日）産業保健（演習結果報告） 第8回（11月24日）まとめ、授業アンケート実施		
授業の進め方	・授業は、スライドと配付資料に基づき進める。 ・事前課題を提示し、個別またはグループで取り組み、授業に中でプレゼンテーション形式で報告を行ってもらう。なお、授業には、ゲストスピーカーからの講義、産業保健の現場の見学、環境測定演習を含みます。 ・配付資料は事前に eALPS にアップするので、各自で持参して下さい。		
テキスト, 教材, 参考書	エッセンシャル地域看護学 医歯薬出版 標準保健師講座 公衆衛生看護技術 標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動 国民衛生の動向 など		
成績評価の方法	成績評価は、授業前後のレポートによる評価とする。		
成績評価の基準	既に学んだ基礎知識をふまえた応用的思考を習得することを、複数のレポートから総合的に評価します。「基礎知識をふまえた応用的思考」は、レポート課題として、学習内容に連動したテーマを課し、現場の実例および実例への適切な対応策を記述し、その内容を評価します。レポートは、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、「卓越している」秀。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」優。4項目までできていれば「やや上にある」良。3項目までできていれば「水準にある」可。 秀：100 - 90点 優：89 - 80点 良：79 - 70点 可：69 - 60点		
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回の授業の終わりに、次回の授業までに予習しておくべき内容を指定します。		

事前事後学習の内容	【事後学習について】 毎回の授業の終わりに、授業内容について確認すべき内容を提示します。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）+ 自己学習時間30時間（4時間×7.5回）= 45時間 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	オフィスアワーは随時です。学外指導等で留守の場合がありますので、あらかじめe-mailで在室をご確認ください。 質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp 石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp 富澤真澄 masumitmw@shinshu-u.ac.jp